



ふれあいの里本泉の皆さん



いずみ亭のそば畑

開設から20年。地域の思いを結集し、人びとを引き付けてやまない「そば」を育て、提供する方たちがいました。

〔里山について知る②〕
交流拠点・地域活動に携わる人編〕

人と自然をつなぐ

少子高齢化と人口減少が最も進む地域で、人と自然、そして地域の内外をつなぐ活動が続けている方たちがいました。



遊楽荘で行われている新鮮野菜百円市に集まる皆さん



遊楽荘での地域の方の集まり



狩猟体験会の様子

ふれあいの里本泉

地域でとれたものを、そのままおいしく食べられることの大切さ

多くの方を引き付けるいずみ亭のそば。おいしさの秘訣は何なのか、会長の木村満さん(同左端)は「地域を良くしていきたい」という思いで、そば打ちに力を入れる。結果、だといひます。

「私たちが運営している『ふれあいの里いずみ亭』は、そば栽培に適した土地柄を活用し、そばを地域資源としていかしていこうというこで、国の山村振興事業の一環として始めたのがきっかけです。」このいずみ亭の運営を支えている副会長の茂木健司さん(上写真右から2番目)は、訪れる客が年々増えているといひます。「5、6年前までは一日50食程度でしたが、今では100食では足りない。ありがたいことに毎日売り切れ仕舞となつています。」

地元産への思いとこだわり

毎日売り切れ仕舞

Look 地元産のそばを味わおう！



ふれあいの里いずみ亭

定休日：木曜日(祝日の場合は、金曜日)

場所：児玉町河内 209-1

電話番号：78-0280



※営業時間やメニュー等、詳しくは左記コードへ。

そうした活動も、最近

持続していくために

「いずみ亭のそばは、地元産のそばの実を使用しています。生産から提供まで、すべて地域のヒトとモノで賄っている。手間暇がかかりますが、地域の力が結果としておいしいそばができていくんです。」



そば打ち体験も好評

高齢化で人手が減り、維持していくことが大変になっているそうです。しかし、茂木さんたちは「そばをとおしてこの地域の魅力を発信しながら、少しでもいずみ亭の活動に共感してくれる方たちを増やしていけたらいい」と前向きに話します。地域で採れた自然の恵みを、そのままおいしく食べられること。いずみ亭は、その大切さを伝えることができる貴重な場所です。まずは、訪れてそばを味わってみて、そのおいしさとともに、こうした場所を残していくことの大切さを噛み締めてみませんか。

NPO 法人本庄市げんきの郷本泉

人と自然。地域内外の結び目となり地元の良さを発信する



運営理事の皆さん

右から石井さん・佐藤さん・小高さん

「体験型交流施設として『遊楽荘』の運営管理、古民家(木村邸)の一棟貸し等、さまざまな活動を行っています。」そう語るのは現在団体の4代目代表をされている石井勝之さん。同じく理事で活動に携わる佐藤正規さん、小高好彦さんらとともに、「本泉を元気にしていきたい」との思いから平日は会社員、土日はボランティアで地域活動に取り組んでいます。石井さんは里山の魅力

「何でもチャレンジできること」だと話します。「地域資源がたくさんあるので、やりたいことやアイデアがどんどん出てくるんです。そうした中で、理事の皆さんの持つノウハウや技術が、地域を支える力になっていますね。」

〈結び目〉となる

「遊楽荘」では、体験型交流事業として「じゃがいもの収穫体験」や、猟友会の方たちと協力して「狩猟体験教室」等も行っています。「里山の魅力を知ってもらいながら、自然と共生していく中で、地域で行われている生業にも関心をもってもらいたいんです。」石井さんたちのこうした活動に参加したことがきっかけで、実際に地域に関わってくれるようになった方もいるそうです。「実は今、本泉を流れる清流である稲聚川沿いに新たなキャンプ場を設置するために動いています。もっと多くの方に、本泉の自然と触れ合ってもらいたいですね。人と自然そして地域内外の結び目となる石井さんたちの活動。それ自体が、本泉の、そして里山におけるひとつの魅力となっているように思えました。」

Look 「里山ならではの」を体験しよう！



古民家木村邸

本庄市げんきの郷本泉

キャンプ場・BBQ、古民家1棟貸し、マルシェ等を行っています。

場所：児玉町元田 375-4



※施設利用等、詳しくは左記コードへ。